

3. 個別学力検査（主体性評価）について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の3要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び個別学力検査の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

また、本学様式は11月中旬公表（予定）の学生募集要項に掲載します。

①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

②農学部

農学科

農学科では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「3. 各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程、後期日程ともに10点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

獣医学科

獣医学科では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「1. 求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述（※注1）から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに5点を加点します。

※注1：調査書の「6.特別活動の記録」及び「7.指導上参考となる諸事項」の2つの項目に重きを置いて、学校内あるいは学校外で取り組んできた活動等について評価します。本学科では、それぞれの内容などから（ ）内に記載した素養や経験を読み取れると考えています。

6. 特別活動の記録（主として協働性）

＜各活動に従事した期間等を必ず「8.備考」に記入してください。＞

7. 指導上参考となる諸事項

- ・ 学習における特徴等（主体性・学問への関心）
- ・ 行動の特徴、特技等（主体性・協働性）
- ・ 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等（主体性・協働性）

＜部活動やボランティア活動の具体的な取組内容および活動期間、その活動における特徴や役割等を記載してください。＞

- ・ 取得資格、検定等（主体性・学問への関心）

＜民間や専門高校の校長会等が実施する資格・検定の内容、取得スコア、取得年次、取得時期等を記載してください。＞

- ・ 表彰・顕彰等の記録（主として主体性）

なお、「5. 総合的な探究の時間の記録」及び「8. 備考」の記述については、主体性等の素養や経験とみなせるものを加点対象とすることがあります。

また、文章の量は評価に関係ありません。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）を提出してください。

※獣医学科における調査書記入のポイントについては、以下のページをご確認ください。

https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/R7_ippan.zyuui.survey.report.pdf

③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び自己申告書（本学様式）を10点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、長期に渡る臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限されたことにより入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。

4. 個別学力検査（英語）の免除について（工学部）

工学部の個別学力検査（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の試験を免除し、英語を満点とします。

申請方法については、11月中旬公表（予定）の学生募集要項をご確認ください。

TOEIC® Listening & Reading Test	TOEFL		GTEC（4技能） ※オフィシャルスコアに限る	実用英語技能検定 （英検）
	Junior®	iBT®		
500	730	38	970	2級

5. 個別学力検査会場について

宮崎大学の個別学力検査会場については、宮崎大学試験場（全学部・前、後期日程）及び横浜試験場（農学部及び地域資源創成学部・前期日程のみ）の2か所を設置します。

①宮崎大学試験場

1）教育学部、工学部、農学部、地域資源創成学部

宮崎大学試験場：宮崎大学木花キャンパス（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）

2）医学部

宮崎大学試験場：宮崎大学清武キャンパス（宮崎市清武町木原5200番地）

②横浜試験場（農学部及び地域資源創成学部・前期日程のみ）

個別学力検査前期日程において、**農学部（全学科）**及び**地域資源創成学部**は上記①に加え、横浜市（神奈川県）にも設置します。

横浜試験場：河合塾横浜校（横浜市西区北幸2-11-6）

農学部及び地域資源創成学部に出願する者は、出願時に受験の希望地を選択することとなります。横浜試験場の希望者が収容人数を超えた場合、その超過した者は、宮崎大学試験場で受験することとなります。

なお、収容人数等の詳細については11月中旬発表（予定）の一般選抜学生募集要項にて公表します。

6. 一般選抜（前・後期日程）の入学試験問題について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません（使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります）。

また、使用した過去問題については、入学試験終了後、受験者に分かるような形で公表します。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、下記のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp/>